



# 大洲校だより



柏崎市立大洲小学校 令和6年10月2日号

## 授業で子供たちを育てる

校長 古川 康成

現在、全国的に教員不足が深刻な問題となっており、文部科学省の調査によると2023年度の公立学校教員の欠員（学校に配置することとしている教員数を満たしていない）数は約3,000人に達し、これは前年に比べて15%増加しています。新潟県や柏崎市でも同様で、大洲小学校でも1名の欠員が生じています。その対応として大洲小では少人数の特性を生かして体育や図工、音楽で合同授業を行ったり、校長、教頭が授業に入ったりして教員の空き時間を週に2～5時間程度確保しています。教員にとって空き時間は非常に貴重で、授業準備やノート点検、成績処理、事務作業、家庭への連絡等をしています。この空き時間があることで教員に心の余裕が生まれ、子どもたちにもゆとりをもって接することができるのです。

私も授業を受け持つことで、子どもたちの学習の様子や人となりに触れることができ、大変嬉しく思っています。私は授業が好きで、子どもたちが「できた、上達した、おもしろい」などと感じたときに見せる表情や態度を見ると、「教えてよかったな」と心から思います。なので授業ではねらい（ゴール）まで、どのような流れにすれば楽しく学ぶことができるか常に考えて組み立てます。その時に心がけているのは子ども自身が「自ら気づき、学ぶ（行動する）意欲をもたせる」ことです。高学年の体育「短距離走」の学習を例に考えてみます。

### 【学習の流れ】 \*全7時間

- ①50m走の記録測定、タブレットで走る動画を撮り、今の自分の走力やフォームを確認する。
- ②ストライド（歩幅）とピッチ（足の回転の速さ）の意味と関係を説明し、ストライドが広く、ピッチが早ければタイムが早くなることを具体的な数値をもとに理解させる。
- ③グループでストライド、ピッチ、タイムを測定する。 \*ストライド、ピッチは計算で求める
- ④レーン毎に140cm～170cmの間隔で白線をひき、「ラインふみ走」をする。広すぎるストライドはピッチが落ち、狭すぎるストライドは走りにくいことを体感する。
- ⑤速く走るためにはピッチを落とさず、ストライドを伸ばす必要があることを理解し、どのようなフォームで走ると速くなるか考える。（腕振り、膝のたたみ、足の振り出し方などのポイントを押さえる）
- ⑥いろいろなレーンで「ラインふみ走」を繰り返し、ピッチが落ちない最長のストライドを知る。
- ⑦タイムや走る動画を確認し、速く走るポイントができていないか確認する。 \*以下⑥から繰り返し
- ⑧50m走の記録測定をして伸びを確かめる。

速く走るメカニズムが分かれば子どもたちは自分なりに考え、できない部分を改善していきます。また、グループで見合い、助言し合うことでかかわりを基にした意欲も生まれます。ここで少しでもタイムが縮めばしめたもので、後は練習を繰り返すことで自然と走力が向上します。

教師は学習の方向を示すことはできますが、それだけでは、子どもたちの「わかった、できた、上達した」につながるとは限りません。どう授業をデザインすれば、子どもの意欲を引き出し、自ら学ぶ姿勢につながるかを考えて指導することが肝要と考えます。

現代は社会変化のスピードが速く、人々の価値観も多様化しています。これからの未来を生きる子どもたちには、自分たちが幸せに生きるために必要なことを自ら考え、自ら行動する力を獲得しようとする意欲が必要です。そのために、学校教育では知識を教え込むだけでなく、自ら考える力や求める力を引き出す授業を進めています。ご理解いただき、保護者、地域の皆様と共に、子どもたちにとってよりよい環境を提供できる学校でありたいと思っています。

なお、欠員については後期（10/16）より高学年に理科専科の非常勤講師が配置される予定です。詳しくは次号でお知らせします。

## 親と子の健康座談会 「こころのSOSの受け止め方について考えよう」

9月4日(水)の親と子の健康座談会では、5・6年生子どもたちと参加を希望した保護者の皆様が、元気館より2名の講師をお招きして「こころのSOSの受け止め方」についてお話を伺いました。

本当に落ち込んでしまうと、人は自分から助けを求めることができなくなります。そこで、今回は「悩んでいる人に気付くためにはどうすればいいのか」、「相談されたらどのように話を聞けばいいのか」について学びました。

グループワークでは、同じ言葉でも人によって受け止め方が異なることに気付き、相手の気持ちに配慮した声の掛け方について考えました。講演では、「こころの変化に気付こう 話の聞き方のポイント」を学びました。



自分自身のサインに気付くことも大事!

### ストレスのサイン

いつもと違う?

#### こころのサイン

- 不安になる
- 涙が出てくる
- イライラする
- 怒りっぽくなる
- 緊張が高まる
- やる気がない
- 気分が落ち込む
- 友達を避ける

#### からだのサイン

- 頭痛、腹痛
- 肩こり
- 寝つきが悪い
- よく眠れない
- 食欲がない
- 食べ過ぎる
- 下痢、便秘
- めまい
- 耳鳴り

#### 行動のサイン

- 遅刻・欠席する
- そわそわしている
- ケガが多い
- 笑わない
- 攻撃的になる  
(ラインなどで)
- 悲観的になる  
(私がいなくなれば...)
- 自分の体を傷つける

### 話の聞き方のポイント



- 1 否定しない、責めない  
×「あなたのかんちがいなんじゃない?」
- 2 優しい言葉をかける  
○「つらかったね」  
○「がんばったと思うよ」
- 3 悩みを分かろうとする  
○「もう少しわくわくおしえてくれる?」  
○「それは困るよね」

意見やアドバイスよりも、聴いてくれることがうれしい

### 三枚のおふだ



- ◇ 逃げていいんだよ!  
・辛すぎるときは、逃げることも大事
- ◇ 頼っていいんだよ!  
・サポートしてくれる人に相談しよう
- ◇ 話していいんだよ!  
・ひとりで抱え込まず、誰かに話そう

三枚のおふだ委員会  
認定NPO法人新潟NPO協会の協力により一部抜粋

## 5年生 自然教室 9/10~9/11



今年度から、高柳の県立こども自然王国を会場に5年生の自然教室を実施しました。9名の5年生は、2日間のウォークラリー、キーホルダー作り、沢登り、キャンプファイヤー、野外炊飯でのカレー作りと多くのプログラムを思う存分楽しみました。天気にも恵まれ、予定したプログラムをすべて行うことができました。

児童数減少により、来年度からは5・6年生合同で修学旅行と自然教室を隔年で実施する予定です。令和7年度は、5・6年生で修学旅行を実施します。

## 10月の主な予定

- |        |                      |        |                         |
|--------|----------------------|--------|-------------------------|
| 1日(火)  | おおすスポーツフェスティバル       | 22日(火) | あげほ朝会 移動図書館             |
| 2日(水)  | 6年生 三中・翔洋学校説明会・部活動体験 | 24日(木) | 藤原スクールカウンセラー<br>訪問日(午後) |
| 7日(月)  | 諸費引き落とし日<br>6年生 食育授業 | 25日(金) | あげほ祭り前日準備               |
| 11日(金) | 前期終業式                | 26日(土) | あげほ祭り                   |
| 14日(月) | スポーツの日               | 28日(月) | 振替休業日                   |
| 15日(火) | 秋季休業日                | 31日(木) | 5年生 理科 川の学習<br>就学時健診    |
| 16日(水) | 後期始業式                |        |                         |